

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年9月1日～2024年8月31日)



伊吹電業株式会社

発行日:2024年10月1日

発行責任者:安田 宏子

1 組織の概要と認証・登録範囲

事業者名及び代表者名
伊吹電業株式会社
代表取締役 安田 金次

所在地
本社 〒521-0314 滋賀県米原市春照230番地1

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）
環境管理責任者 安田 宏子
連絡先：0749-58-1025

連絡担当者 草野 直子
連絡先：0749-58-1025

事業活動の内容（認証・登録範囲）
特定建設業：土木工事業、とび・土工工事業、電気工事業、管工事業、
水道施設工事業、電気通信工事業
一般建設業：消防施設工事業

（事業内容：高低圧電気設備、給排水、冷暖房設備、消防設備の設計工、家電販売）

事業の規模
売上高 187 百万円／2023年
工事件数 159 件／2023年
全従業員 9 名

事業組織

活動規模	単位	本社
事務所床面積	m ²	202.20
倉庫床面積	m ²	399.72
資機材置場面積	m ²	338.22
工場・作業場等面積	m ²	47.24
駐車場面積	m ²	420.00
従業員数	名	9
EA21認証・登録		0001502

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	7,278	15,285	15,709
二酸化炭素の原単位排出量	Kg-CO ₂ /百万円	67	82	137
廃棄物の排出量	t	79.5	54.1	7.0
水の使用量、排水量	m ³	306.0	240.1	163.1

*購入電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力2017年度調整後の 0.418kg-CO2/kWh とします

*化学物質の取扱いは極微量のため、適正に管理します

*当社は毎年9月1日から翌年8月31日までの事業活動期間及び環境活動期間です

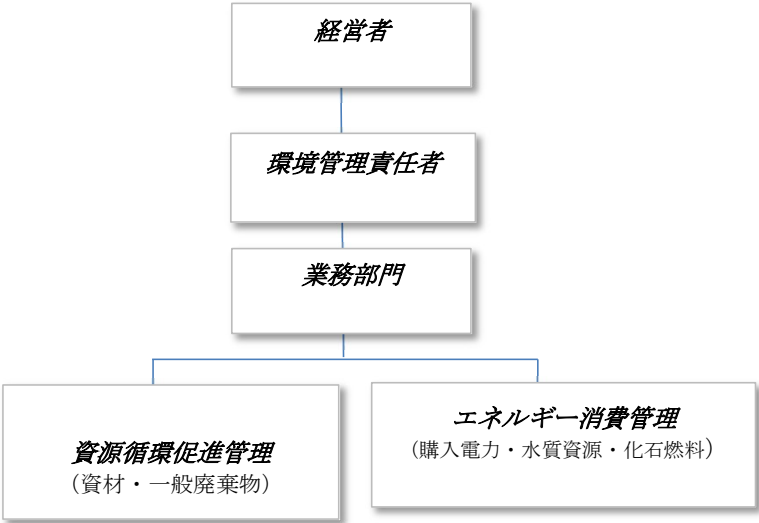
2 実施体制図

2022. 1. 5現在

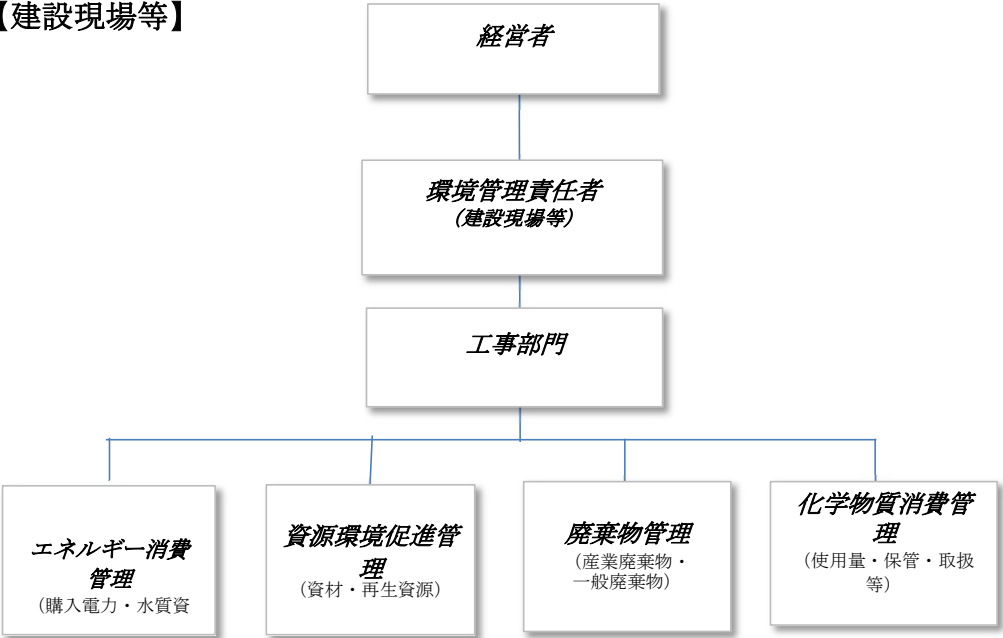
環境経営システム組織図

認証・登録 の適用範囲	： 高低圧電気設備・給排水・ 冷暖房設備・消防設備の設 計
住 所	： 施工、家電販売 滋賀県米原市春照230番地1

【事業所】



【建設現場等】



責任及び権限一覧表

役 割	責 任 と 権 限
代 表 者	① 環境経営システムに関する全ての責任と運用 ② 環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源の提供 資源には人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。 ③ 環境管理責任者の任命 ④ 環境経営方針の設定・見直し及び従業員への周知、徹底 ⑤ 環境関連文書の承認 ⑥ 代表者による全体の評価と見直し・指示の実施
環境管理責任者	① 環境経営システムの構築、実施、管理 ② 環境への負荷及び取組の自己チェックの確認、承認 ③ 法規制等の遵守状況チェック ④ 環境経営目標の設定、環境経営計画の確認、承認 ⑤ 環境経営計画取組状況の確認、環境経営目標達成状況の評価 ⑥ 不適合是正処置、予防処置結果の承認 ⑦ 環境経営計画取組結果の代表者への報告 ⑧ 従業員に対する環境教育訓練の実施 ⑨ EA21に関する運用管理体制の構築、各責任者の任命
工 事 部 門	① 責任範囲における環境経営システムの実施 ② 責任範囲における環境経営方針の周知 ③ 環境への負荷及び取組の自己チェックの作成、環境管理責任者への報告 ④ 責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の作成、実施状況の報告 ⑤ 責任範囲の特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録 ⑥ 責任範囲の不適合の発見、是正処置、予防処置
業 務 部 門	① 責任範囲における環境経営システムの実施 ② 責任範囲における環境経営方針の周知 ③ 責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の作成、実施状況の報告 ④ 責任範囲の不適合の発見、是正処置、予防処置 ⑤ 環境経営目標、環境経営計画の取りまとめ、実施達成状況の集計 ⑥ 文書及び記録の管理保管 ⑦ 外部・内部コミュニケーションの窓口
全 従 業 員	① 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ② 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

伊吹電業株式会社

環境経営方針

環境理念

近年、日本経済は大量生産、大量消費によって高度経済成長をもたらされましたが、半面地球規模での環境破壊を招く結果となりました。当社はこうした事を顧み、事業活動と環境保護を当社の経営理念の両輪と考え、3R運動を基本概念として環境活動に取り組みます。

「Reduce」	ゴミを減らす 資源・エネルギー消費を減らす
「Reuse」	物を繰り返し使う
「Recycle」	再資源化する

行動指針

当社は県内において、電気工事業と管工事業を行っています。使用電気量の省エネ設備や給排水の省資源をもたらす設備をお客様に提供する事によって資源の有効活用化に貢献します。又、社内においては有限の資源を使用しているという観点から、活動で生じる廃棄の部分を極力減らし、可能な限りリサイクルするようにします。又、良質な材料、適切な施工により長期の使用に耐えうるもの、改築等で再びの使用が可能な工作物を目指します。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 環境経営目標を定め定期的に見直し、継続的に改善に努めます。
3. 環境影響を軽減するため、次の活動を実施します
 - ☆ 事務所や建設現場で使用する電力や化石燃料の削減による二酸化炭素排出量の削減
 - ☆ 建設現場で発生する廃棄物は建設リサイクル推進
 - ☆ 事務所や建設現場で使用する水使用量の削減
 - ☆ 濁水発生防止施工の促進
 - ☆ 省エネ機器等の環境配慮製品の販売・提案
4. この環境方針は全従業員に周知します。

制定日：2012/10/1

改訂日：2016/10/1

改訂日：2018/9/1

伊吹電業株式会社

代表取締役 **安田 金次**

3 環境経営目標とその実績

2017年度の実績を自己チェック等により把握し、その結果を基準値として、2023年度から2024年度までの目標を下記の通り設定しました。エコアクション21は2006年9月より環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2023年9月1日から2024年8月31日までの運用実績について取りまとめました。

環境経営目標	取組項目	年度	2017年	2023年		2024年
		単位	(基準年実績)	(目標)	(実績)	(目標)
事務所や建設現場で使用する電力や化石燃料の削減による二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 (単位: kWh)	%		96.0%	112.6%	95.0%
		消費量	16,583	15,920	18,665	15,754
		(kg-CO ₂)	6,932	6,654	7,802	6,585
	ガソリン使用量の削減 (単位: L)	%		96.0%	70.1%	95.0%
		消費量	2,153	2,067	1,510	2,045
		(kg-CO ₂)	4,994	4,794	3,502	4,745
	軽油使用量の削減 (単位: L) 建設現場	%		96.0%	64.8%	95.0%
		消費量	1,447	1,389	938	1,374
		(kg-CO ₂)	3,733	3,583	2,420	3,546
	灯油使用量の削減 (単位: L) 建設現場	%		96.0%	122.0%	95.0%
		消費量	653.0	627	797	620
		(kg-CO ₂)	1,626	1,561	1,984	1,545
	二酸化炭素排出量の削減	%		96.0%	90.9%	95.0%
		(kg-CO ₂)	17,284	16,593	15,709	16,420
		(CO ₂ /百万円)	240	230	137	253
建設現場で発生する廃棄物は建設リサイクル推進	分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 建設現場	%				
		(年)	98.9%	98.0%	99.6%	98.0%
事務所や建設現場で使用する水使用量の削減	事業所利用水の節水 (単位: m ³)	%		97.0%	72.1%	97.0%
		(m ³ /年)	226.0	219.2	163.1	219.2
濁水発生防止施工の促進	濁水防止監視を実施する (単位: %) 建設現場	%		100%	100%	100%
		%	100	100	100	100
省エネ機器等の環境配慮製品の販売・提案	販売台数の拡大 (単位: 台)	%		105.0%	199.4%	105.0%
		(台/年)	504	529	1005	529

目標の説明や補足事項

- 1 購入電力の排出係数は、関西電力の2017年調整後排出係数の0.418kg-CO₂/kwhとする
- 2 基準年度は2017年度とする。化学物質については使用量・保管量共に極微量の為、削減目標として挙げず適正に管理する。
- 3 二酸化炭素排出量の削減取組みでは電力、化石燃料の使用量削減に取り組む
- 4 建設現場・施工現場からの廃棄物は分別を徹底し、建設リサイクルに取り組む
- 5 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する。また建設現場・施工現場では濁水防止施工を実施する
- 6 省エネ機器販売は、エコキュート、インバーター蛍光灯、エアコン、メタハラ照明、太陽光発電システム、LED照明等の販売台数とする
- 7 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む

4 環境経営計画

環境経営目標	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
事務所や建設現場で使用する電力や化石燃料の削減による二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 (単位: kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃)	工事部門 田中 (業務部門 草野)
	ガソリン使用量の削減 (単位: L)	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ エコドライブの励行 ④ 建設重機の環境に配慮した稼働	工事部門 安田 (田中)
	軽油使用量の削減 (単位: L) 建設現場		
	灯油使用量の削減 (単位: L) 建設現場	③ ストープの温度管理 (冬季20℃±1℃)	
建設現場で発生する廃棄物は建設リサイクル推進	分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 建設現場	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 無駄な資機材を購入しない。	工事部門 田中
事務所や建設現場で使用する水使用量の削減	事業所利用水の節水 (単位: m³)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	工事部門 田中 (業務部門 草野)
濁水発生防止施工の促進	濁水防止監視を実施する (単位: %) 建設現場	① 濁水防止の適正監視する	
省エネ機器等の環境配慮製品の販売・提案	販売台数の拡大 (単位: 台)	①エコキュート ②インバータ蛍光灯 ③インバータエアコン ④メタセラン® ⑤太陽光発電 ⑥LED照明	工事部門 安田 (田中)

取組みの紹介

- 1 社有車をPHV車、EV車に更新する
- 2 節電とアイドリングストップ®及びエコドライブ®を励行する
- 3 分別の徹底で建設リサイクルの推進する
- 4 建設現場・施工現場では濁水防止施工を実施する
- 5 省エネ機器等の販売・提案を推進する

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営目標	取組項目	年度	2023年		取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)		
事務所や建設現場で使用する電力や化石燃料の削減による二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 (単位：kWh)	%	96%	112.6%	基準年度比12.5%増で目標達成できなかった。 こまめな節電等環境取組事項を実施する。	工事部門 田中 (業務部門 草野)
		消費量	15,920	18,665		
		(kg-CO ₂)	6,654	7,802		
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	%	96%	70.1%	今期はガソリン使用量が基準年度比29.8%減、軽油使用量が基準年度比35.2%減であった。二酸化炭素排出量削減できた(5.3%減)。 灯油使用量が増加した原因としては、通年より寒冬で豪雪時期があったこと、社内での業務が多かったこと等があげられる。 今後とも電気自動車、PHV車の活用及び同一場所への乗り合い等環境取組事項を実施する。	工事部門 安田(田中)
		消費量	2,067	1,510		
		(kg-CO ₂)	4,794	3,502		
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	%	96%	64.8%		
		消費量	1,389	938		
		(kg-CO ₂)	3,583	2,420		
	灯油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	%	96%	122.0%		
		消費量	627	797		
		(kg-CO ₂)	1,561	1,984		
	二酸化炭素排出量の削減	%	96%	90.9%		
		(kg-CO ₂)	16,593	15,709		
	二酸化炭素排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)		96%	56.9%		
		(CO ₂ /百万円)	230	137		
建設現場で発生する廃棄物は建設リサイクル推進	分別及びリサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	% (年)	98%	99.6%	建設産業廃棄物の分別、リサイクルは徹底されている。	工事部門 田中
事務所や建設現場で使用する水使用量の削減	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	% (m ³ /年)	97%	72.1%	取組事項が実施されて、目標達成できた。 今後とも節水等環境取組事項を実施する。	工事部門 田中 (業務部門 草野)
濁水発生防止施工の促進	濁水防止監視を実施する (単位：%) 建設現場	% (m ³ /年)	100%	100%	濁水発生の適正処置の確認実施。	
省エネ機器等の環境配慮製品の販売・提案	販売台数の拡大 (単位：台)	% (台/年)	105%	199.4%	環境配慮製品の販売台数は増え、目標達成できた。 LED照明の販売数が多かった。	工事部門 安田(田中)

取組状況

- 1 社有車をPHV車、EV車に更新した
- 2 節電とアイドリングストップ及びエコドライブを励行した
- 3 分別の徹底で建設リサイクルを推進した
- 4 建設現場・施工現場では濁水防止施工を実施した
- 5 省エネ機器等の販売・提案を推進した

社会貢献活動として美知メセナに参加し、一般県道（山東伊吹線）の植栽管理や施肥灌水を継続して実施しています



PHV車導入



RV車導入



太陽光発電（南側倉庫）

売電量は26,447kWhで弊社事業で排出する二酸化炭素の63.7%をカバーすることになります



EV・PHV用充電設備

次年度取組内容

LED照明による省電力化、省エネ機器等環境配慮商品の販売拡大、太陽光発電システム及び電気自動車(EV・PHV)充電設備の拡販等環境活動を実施します。

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	適正処理
建設副産物適正処理推進要綱	再生資源利用計画書、実施書、再生資源利用促進計画書、実施書の届出	遵守
資源有効利用促進法	パソコン、ディスプレイの再生利用	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
水質汚濁防止法	事故時の公共用水域への有害物質の排出、浸透防止の為の応急処置、報告	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の点検記録と保存及び廃棄	遵守
家電リサイクル法	対象家電品の適正廃棄	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車の適正廃棄	遵守
環境配慮促進法	環境情報の提供	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理

7 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

【電気使用量】

基準年度比12.6%増であり目標達成できなかった。
こまめな節電等環境取組事項を実施するとともに、太陽光発電、V2Hをうまく利用する。

【化石燃料使用量】

今期はガソリン使用量が基準年度比29.8%減、軽油使用量が基準年度比35.2%減であった。二酸化炭素排出量削減できた(5.3%減)。
灯油使用量が増加した原因としては、通年より寒冬で豪雪時期があったこと、社内での業務が多かったこと等があげられる。
今後とも電気自動車、PHV車の活用及び同一場所への乗り合い等環境取組事項を実施する。

【環境配慮製品】

環境配慮製品の販売台数は増え、目標達成できた。
LED照明の販売数が多かった。

【水使用量】

取組事項が実施されて、目標達成できた。今後とも節水等環境取組事項を実施し、定期的な漏水確認を行う。